

「ISO26000 ガイダンス文書規格 ラーニングセミナー」のご案内

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

「ISO26000 ガイダンス文書規格」は、現在 DIS(ISO 国際規格ドラフト)の段階となり、規格を構成する主要項目、内容、要素はほぼ完成レベルに達しました。今後は規格の長さの短縮・簡略化、記述内容の精度向上、積み残された個別議論の収束等を残すのみとなっております。

同規格は、世界 160 カ国の ISO メンバー国から選ばれた 6 つのステークホルダーの代表である、持続的発展問題や CSR・ESG の専門家が、異なる文化・価値観、歴史・慣習などの違いを越えて、5 年に亘る議論の末、まとめ上げられた社会的責任規格(案)です。

これを参考にすることで、企業は自社の CSR 活動が独りよがりになっていないか、世界的な視野から見て偏りが無いかなどを検証でき、既存の各社の CSR フレームワークに不足している要因、項目等を組み入れることで実践的に活動内容のレベルアップを図ることが出来ます。

同規格は今後、DIS(案)に対する ISO メンバー国の最終コメント期間を経て各国投票にかけられ、2010 年後半に発行する予定となっております。

当クレアンでは、「ISO26000 ラーニングセミナー」を開催し、実際に DIS(案)を使用しながら、これまでの議論の経緯・背景を踏まえて、SR 規格の全章立て内容解説、ガイダンス文書の実践的な使い方、日本企業にとっての重点項目等について、質疑応答・対話を通じて学習し、SR 規格発行後の対応の支援を提供したいと考えております。受講者は本セミナーを通じて、以下の成果を得ることが出来ます。

- ① ISO26000 規格の狙い、目的、活用することで得られるベネフィット
- ② ISO26000 規格を効率的、効果的に使いこなすコツ
- ③ 「実行」に必要な中核ツール、手法についての学習と整理
- ④ 規格中の（英語）表現／用語／原則／基準／その他記述についての理解向上

講師には、当初から ISO ワーキング・グループの日本産業界エキスパート、日本派遣団長を務められた元オムロン株式会社取締役室顧問の深田 静夫氏をお迎えします。同氏は、ISO/SR 規格文書第 5 章と第 7 章のドラフティングチームの責任者を当初より務められ、また、規格化最終段階では WG 内の選挙で選ばれた“少人数ドラフトチーム IDTF” (22 名)の産業界(エキスパート計 90 名)先進国エキスパート副代表(正は米国)として貢献されました。セミナーでは各章のキーポイントを整理した同氏作成のラーニングテキストを使用します。尚、ISO26000/DIS の和訳資料は、和訳版が発行され次第 (9 月末前後を予定)、セミナー資料として配布させていただきます。

本セミナーが、ISO26000 に関する本質的な理解を深めると同時に、CSR 推進の一助となれば幸甚です。

株式会社クレアン 代表取締役
株式会社 CSR 経営研究所 代表取締役
藺田 綾子

「ISO26000 ガイダンス文書規格」ラーニングセミナー案内

1) 開催概要

主催： 株式会社クレアン、株式会社 CSR 経営研究所

開催日時： 第1回ラーニングセミナー 2009年9月18日(金) 13:30～17:30
第2回ラーニングセミナー 2009年10月15日(木) 13:30～18:00
第3回ラーニングセミナー 2009年10月16日(金) 13:30～19:00

開催場所： 新宿 NSビル 3階 第1回：305 会議室、第2回：303 会議室、第3回：303 会議室

ホームページ： <http://www.shinjuku-ns.co.jp/index.html>

住所： 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NSビル

交通： ・JR線/京王線/小田急線/丸の内線：新宿駅「南口・西口」から徒歩7分
・都営地下鉄線(新宿線)・京王新線：新宿駅「新都心口」より徒歩約6分
・都営地下鉄線(大江戸線)：都庁前駅A3 出口より徒歩約3分



参加方法： 本セミナーは連続セミナーです。第2回および第3回セミナーは、第1回セミナーの受講者のみ受講可能です。別紙の御申込書よりお申し込みいただけます。

参加費： 第1回ラーニングセミナー 3,000円 (資料代込み、税込み)
第2回ラーニングセミナー 21,000円 (資料代込み、税込み)
第3回ラーニングセミナー 21,000円 (資料代込み、税込み)
※ 一括でお申し込みの場合は、35,000円 (資料代込み、税込み)

注意事項： ① お申し込み期限： 2009年9月4日(金)までとさせていただきます。
② お申し込みは先着順とし、原則として一社一名様でお願いいたします。
各セミナーはお申し込み数に限りがございます。予めご了承ください。
③ 本セミナーの対象は CSR の基礎を理解されている企業の CSR 担当者様に限定させていただきます。CSR 専門家、コンサルティング業の方はご遠慮ください。
④ 第2回、第3回セミナーのご希望者数が多く、複数回開催させていただくことになった場合には、開催日を別途ご連絡させていただきます。
⑤ 参加費のお支払い方法は、別紙の御申込書をご覧ください。

2) セミナープログラム

本セミナーは3回連続セミナーです。セミナーのプログラムは、各章の重要テーマについての講義と質疑応答からなり、講義資料は各回で配布いたします。具体的には、各章の重要テーマを取り上げ、日本企業がどう取り組めばよいか、正しく効率のよい取り組み方を講義するとともに、受講者の悩みや疑問に基づいた質疑応答やディスカッションを行います。

第1回は、ISO26000が作成された背景と規格の全体像を、同規格文書の第2章「用語及び定義」までを包含した形でご説明します。第2回は、第3章「社会的責任の理解」から第5章「社会的責任の認識及びステークホルダーエンゲージメント」までの理解を目的とし、第3回は、第6章「社会的責任の中核主題に関する手引」と同規格の中でも極めて重要な第7章「社会的責任を組織全体に統合するための手引」の理解を目的とします。

■ 第1回ラーニングセミナー

「ISO26000(ドラフト版)の全体像の把握に向けて」

- 目的： ISO26000 の全体構成および序文、第1章「適用範囲」、第2章「用語及び定義」の理解。
- 対象： CSR の基礎は理解しており、ISO26000 の全体像を理解したい CSR 担当者。
- 人数： 60名まで（最小実施人数20名）
- 講師： 深田 静夫 氏、雨宮 寛氏
- 費用： 3,000円（資料代込、税込）
- 内容： 9月18日（金）開催。以下の3つのプログラムで構成（3時間半）。

◆ 挨拶・プログラム紹介、2008～2009年度のCSR活動の傾向（10分）

◆ プログラム①「今、なぜISO26000か？その背景と目的」 深田氏（40分）

◆ プログラム②「ISO26000の構成と定義」 深田氏（60分）

- ① ISO26000ドラフトの全体構成（雨宮氏の解説・質問パートを含む）
- ② 解説-1： 序文
- ③ 解説-2： 第1章「適用範囲」
- ④ 解説-3： 第2章「用語及び定義」

◆ 休憩（15分）

◆ プログラム③「頻出質問の解説と質疑応答」 深田氏、雨宮氏（80分）

- ① プログラム②の内容に関するこれまでの頻出質問の解説（3つを解説、30分）
- ② プログラム②の内容に関する参加者からの質疑・応答（50分）

◆ 終了の挨拶（5分）

第2回ラーニングセミナーのご案内

■ 第2回ラーニングセミナー

: 「 ISO26000(ドラフト版) 第3章から5章までの把握 ～ 社会的責任の理解からステークホルダーエンゲージメントまで ～ 」

- 目的： 第3章「社会的責任の理解」、第4章「社会的責任の原則」、及び第5章「社会的責任の認識及びステークホルダーエンゲージメント」のキーポイントの理解。
- 対象： 第1回ラーニングセミナーの受講者、または第1回受講者と同じ企業の担当者
- 人数： 20名（最小実施人数5名、ご要望が多ければ複数回開催予定）
- 講師： 深田 静夫 氏、雨宮 寛氏
- 費用： 21,000円（資料代込、税込）
- 内容： 10月15日（木）開催。以下の2つのプログラムで構成（4時間）。

◆ 挨拶・プログラム紹介（5分）

◆ プログラム① 「第3章から第5章までのキーポイント」 深田氏（120分）

- ① 解説-4： 第3章「社会的責任の理解」
- ② 解説-5： 第4章「社会的責任の原則」
- ③ 解説-6： 第5章「社会的責任の認識、ステークホルダーの特定およびステークホルダーエンゲージメント」
(雨宮氏による解説・質問パートを含む)

◆ 休憩（15分）

◆ プログラム② 「頻出質問の解説と質疑応答」 深田氏、雨宮氏（90分）

- ① プログラム①の内容に関する頻出質問の解説（頻出質問3つを解説、40分）
- ② プログラム①の内容に関する質疑・応答（50分）
※ ファシリテーター 菌田

◆ 終了の挨拶（10分）

第3回ラーニングセミナーのご案内

■ 第3回ラーニングセミナー

「 ISO26000(ドラフト版) 第6章・第7章のキーポイントの把握 ～ 中核主題の特定から組織活動への統合まで ～ 」

- 目的： 第6章「社会的責任の中核主題に関する手引」と規格全体の中でも極めて重要な第7章「社会的責任を組織全体に統合するための手引」のキーポイントの理解。
- 対象： 第1回ラーニングセミナーの受講者、または第1回受講者と同じ企業の担当者
- 人数： 20名（最小実施人数5名、ご要望が多ければ複数回開催予定）
- 講師： 深田 静夫 氏、雨宮 寛氏
- 費用： 21,000円（資料代込、税込）
- 内容： 10月16日（金）開催。以下の4つのプログラムで構成（5時間）。

◆ 挨拶・プログラム紹介（5分）

◆ プログラム① 「第6章のキーポイント」 深田氏（70分）

解説-6： 第6章「社会的責任の中核主題に関する手引」

（雨宮氏による解説・質問パートを含む）

◆ プログラム② 「第6章の頻出質問の解説と質疑応答」 深田氏、雨宮氏（50分）

① プログラム①の内容に関する頻出質問の解説（頻出質問2つを解説、20分）

② プログラム①の内容に関する質疑・応答（30分）

◆ 休憩（20分）

◆ プログラム③ 「第7章のキーポイント」 深田氏（70分）

解説-7： 第7章「社会的責任を組織全体に統合するための手引」

（雨宮氏による解説・質問パートを含む）

◆ プログラム④ 「第7章の頻出質問の解説と質疑応答」 深田氏、雨宮氏（70分）

① プログラム③の内容に関する頻出質問の解説（頻出質問2つを解説、20分）

② プログラム③の内容に関する質疑・応答（50分）

◆ 全体総括 深田氏（5分）

◆ クレアンからのご案内（5分）

◆ 終了の挨拶（5分）

以上

【別紙】

深田 静夫（ふかだ しずお）氏のプロフィール（2009年7月1日現在）

現職： (株) Inter-Business Network < I B N > 代表取締役
職歴： 1960年 4月 安宅産業株式会社に入社（在職 14年）
1977年 10月 住友商事株式会社に入社（在職 20年）
1994年 6月 オムロン株式会社に入社（在職 15年）
本社コーポレートコミュニケーション本部海外統括理事
2000年 4月 東京本社取締役室 常勤顧問
2009年 6月 同取締役室常任顧問を退任

◆ 主な略歴と活動分野：

1] 「企業の社会的責任」国際関連活動全般&ISO 国際規格機関関連活動

1990年～2000年 (社) 海外事業活動関連協議会 (CBCC) 企画部会委員

2000年～2009年6月 (社) 海外事業活動関連協議会 (CBCC) 企画部会長

2002年～2004年 // ISOにおけるCSRの規格化に関するワーキング・グループ座長

2002年～2009年 経済産業省「消費者信頼企業標準化調査研究委員会」委員

*2004年10月より「CSR国内標準委員会」に名称変更

2003年～2009年 日本経団連「社会的責任経営部会」委員&ISO タスクフォース委員

2004年～2009年6月 ISO/SR規格化ワーキング・グループ日本代表産業界エキスパート兼同
団長

2] 国際貿易投資および通商関連分野における諸活動： 1985年～2008年

- ・ 日米財界人会議 日本委員会シニアスタッフメンバー
- ・ ABAC (APEC) 日本代表委員シニアスタッフ&支援委員会委員
- ・ 日本経団連 WTO 委員会/アジア各国二国間&アセアン自由貿易協定(EPA)委員会委員
- ・ 日本経団連 日・シンガポール自由貿易協定交渉タスクフォース座長
- ・ 経団連 アメリカ委員会委員
- ・ 日米通商条約締結 50周年記念行事 (2002年) 日本側代表メンバー

3] 総合商社時代の海外経験と活動分野： 米国駐在 4回、通算 23年

- ・ 駐在時期 : 1962年～1990年
- ・ 活動分野 : 世界石油ガス開発国の石油ガス掘削用油井管、輸送パイプライン用パイプ、
ほか掘削機器の販売
- ・ 販売相手先: 世界の石油メジャー会社、準メジャー、国営石油会社・多国籍合弁会社
- ・ 活動地域 : 米国全域 (アラスカ含む)、南米全域 (ベネゼラ、ブラジルなど) アジア
全域、北海&欧州全域、中東地域

以上